

# 【重要】第19回の変更点

書道パフォーマンス甲子園が、更に魅力ある大会として多くの学校が参加し、本戦出場の可能性がこれまで以上に広がるように、下記のとおり変更いたします。

## 1. 本戦出場校について

第19回大会から、本戦出場校は22校（※予定）とします。変更概要は下記のとおりで、開催要項「8. 大会概要（3）」を必ずご確認ください。

【変更前】20校程度

【変更後】**20校 + チャレンジ枠2校**

これまで同様に、参加校数によって各ブロックに本戦出場校数を振り分けます。同率で20校を超えるような場合は、ブロック内の順位点の差が少ない順に学校を選出し、20校とします。

### ①初出場校等枠1校

予選次点校の中で、これまで**本戦出場経験がなく、同じブロックの予選通過最下位校との順位点の差が最も少ない学校**を選出します。対象校がなければ、「次次点校」、「次点校の中で3大会以上本戦出場歴のない学校」の順で選出します。

### ②少人数枠1校

ブロック予選を通過した20校を除き、**選手6人以下の学校を対象に、同じブロックの予選通過最下位校との順位点の差が最も少ない学校**を選出します。

※①と②が同一校となった場合は、その1校のみを選出

## 2. 審査について

審査員の構成及び審査項目について下記のとおり見直しを検討しています。正式発表は2月下旬としますが、概要をお知らせいたします。今後、変更となる可能性があります。

### (1) 審査員の構成（案）

【変更前】書道部門4人 パフォーマンス部門4人

【変更後】書道部門**5人** パフォーマンス部門**3人**

### (2) 審査項目について（案）

【変更前】

部門	審査員	審査項目	配点	審査内容
書道	<b>4人</b>	書の美	30点	書の美しさ、文字表現の美しさ、色彩の美しさ、選択した言葉の評価
		紙面構成	30点	行の流れや紙面全体のバランス、一体感の評価
		用筆の正確さ	30点	用筆の正確さ、運筆の巧みさの評価※
		総合	10点	書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価
パフォーマンス	<b>4人</b>	所作の美	30点	書く姿の美しさの評価※
		構成・演出	30点	演技のストーリー性や組み立て、また独創性や選択した言葉ほか、チーム全体の一体感の評価
		演技・身体表現	30点	表情も含め、パフォーマンス、身体での表現度の評価
		総合	10点	書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価

【変更後】

部門	審査員	審査項目	配点	審査内容
書道	<b>5人</b>	書の美	30点	書・文字表現・色彩の美しさを評価
		紙面構成	30点	選択した言葉をはじめ、行の流れや紙面全体のバランス、一体感を評価
		用筆の正確さ	30点	用筆の正確さ、運筆の巧みさを評価
		総合	10点	書とパフォーマンスが融合し、観る人に感動や共鳴を与えたかを総合的に評価
パフォーマンス	<b>3人</b>	書き姿	30点	書く姿がパフォーマンスの中心となり、見せ場として強く印象的であるかを評価
		構成	30点	テーマに沿った演技の構成や演出、また独創性のほか、選択した言葉を評価
		演技	30点	動きの精度やパフォーマンスの質、身体や表情などの表現力のほか、チーム全体の一体感を評価
		総合	10点	書とパフォーマンスが融合し、観る人に感動や共鳴を与えたかを総合的に評価